

## 令和4年度 微生物汚染と対策に関する基礎講座

趣旨：日本防菌防黴学会は、会員の皆様方への情報サービス等の提供を行うことを使命の一つと考えております。この基礎講座の開催につきましても、その一環として位置付けております。

新型コロナウイルス（SARS-CoV2）による感染症は、一旦減少傾向を示しておりましたが、現在、オミクロン株の変異種である BA.5 に置き換わりつつあり、感染者数も全国的に再度増加傾向を示しており、第7波到来の懸念材料となっております。一方、ワクチン接種も4回目が順調に進みつつありますが（BA.5 はワクチンの効果を弱めることも指摘されておりますが）、終息までにはまだ時間がかかる状況でございます。このような状況ではございますが、学会の使命として、今年度も12月に基礎講座を開催させていただくこととなりました。なお、開催に際しての基本的事項ですが、今回も出来るかぎり最新情報を踏まえた内容を心掛け、企画した次第でございます。具体的には、特別講演として「新型コロナウイルスから学ぶウイルスとの共生」を取り上げていただき、微生物利用の基礎、食品衛生の基礎と実践（2題）、化粧品における微生物制御の基礎、ならびに食品・製造環境における微生物制御（2題）の、計7演題で構成しております。微生物による感染の制御と製造現場等における衛生管理等に役立つ内容となっております。日本防菌防黴学会の会員の皆様だけでなく、非会員の皆様方にも是非、奮ってご参加いただけますこと、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

日時：2022年12月9日（金）

場所：エル・おおさか、11階、大会議室（大阪府中央区北浜東3-14）

本基礎講座では、新型コロナウイルス感染者数増加への対応等のためハイブリッド開催を予定しておりますが、参加者交流の観点から可能であれば会場での参加にご協力をお願いします。

参加費：●正会員、賛助会員、維持会員：8,000円 ●非会員：10,000円 ●学生会員：1,000円

申込方法：件名を「基礎講座参加申込」とし

- ①氏名
- ②ご所属、住所、メールアドレス、電話番号
- ③会員種別（本学会員（正、賛助、維持、学生）、非会員）
- ④参加方法（会場、Web（Zoom））

以上4項目を記載しE mail（[boukin@nifty.com](mailto:boukin@nifty.com)）までお送りください。

後日、受付終了の返信メールを送ります。1週間以内に返信メールが届かない場合は再送信ください。

なお、Web（Zoom）参加を予定されておられる参加者には、11月末を目途にZoomのミーティングIDとパスコードをメールにてお送り致します。

参加費は、原則会場でお支払い下さい。なお、Web（Zoom）参加の方々には、講座終了後、ご請求書をお送り致しますので、銀行振り込みにてお振込み下さい。現時点では、新型コロナウイルス感染の現状等を考慮し、原則会場にお越しいただき、一部オンラインでの聴講を併用した開催を目指しております。なお、開催形式の変更等につきましては、必要に応じて、ホームページ、学会誌等でお知らせいたします。

企画担当:奥西 淳二(丸石製薬(株) 日本防菌防黴学会副会長)・隈下 祐一(サラヤ(株))  
坂上 吉一(元近畿大学)・宮島 誠(元 日油(株))

開催の辞:坂上 吉一(元近畿大学、元 日本防菌防黴学会会長)

**【微生物利用の基礎】**

座長:奥西 淳二(丸石製薬(株) 日本防菌防黴学会副会長)

1. 微生物を利用した有用物質生産の現状と将来(仮)(9:45~10:30)

近畿大学 森 美穂

**【食品衛生の基礎と実践】**

座長:隈下 祐一(サラヤ(株))

2. 細菌芽胞による食中毒とその制御(仮)(10:30~11:15)

摂南大学 桑名利津子

3. 食品衛生 7S、ハードルテクノロジー活用関連(仮)(11:15~12:00)

SEITA 食品安全コンサルティング 青森 誠治

**【新型コロナウイルスの将来展望(特別講演)】**

座長:坂上 吉一(元近畿大学)

4. 新型コロナウイルスから学ぶウイルスとの共生(仮)(13:00~14:00)

京都大学 医生物学研究所 宮沢 孝幸

**【化粧品における微生物制御の基礎】**

座長:隈下 祐一(サラヤ(株))

5. 化粧品の微生物制御および試験法(仮)(14:00~14:45)

大河微生物研究所 大河 正樹

休憩(14:45~15:00)

**【食品・製造環境における微生物制御】**

座長:宮島 誠(元 日油(株))

6. 食品分野で使用される物理的殺菌技術とUV-LEDの応用事例(仮)(15:00~15:45)

徳島大学大学院 白井 昭博

7. 製造環境における実践的な微生物制御方法(仮)(15:45~16:30)

三重大学大学院 福崎 智司

閉会の辞:奥西 淳二(丸石製薬(株) 日本防菌防黴学会副会長)